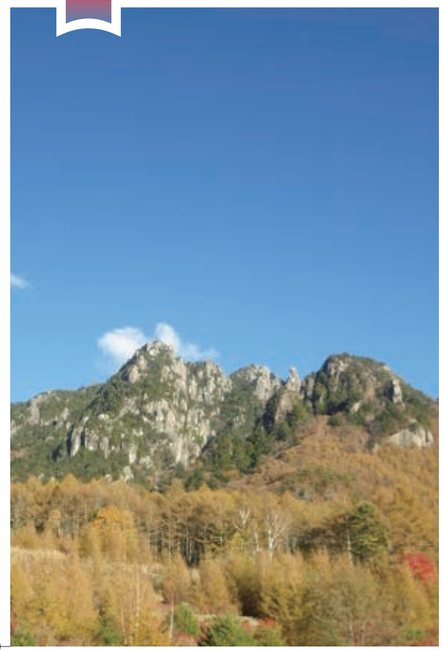
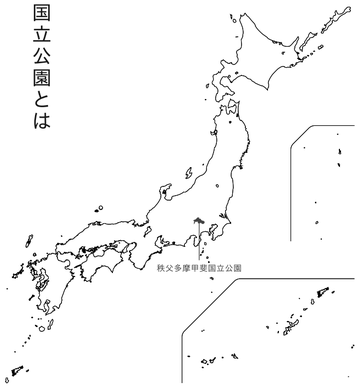
秩父多摩甲斐国立公園

National Parks of Japan



国立公園とは



国立公園は、日本を代表する自然の風景地として、自然公園法に基づいて国が指定するものです。
北は北海道から南は沖縄、小笠原諸島まで34の国立公園が指定されており、年間3億人以上が利用しています。
国立公園内は、自然の絶景だけではなく、野生の動植物、歴史文化などの魅力の宝庫です。日本の国立公園は、森林、農地、集落など多様な環境が含まれていることが特長です。ほとんど手つかずの自然が残されているところがある一方で、自然と人の暮らしが織りなす地域の歴史や文化にふれることができます。
是非、実際に国立公園を訪れ、四季折々に変化する日本の美しい自然を満喫してください。

特長

森林美と渓谷美であふれる
首都圏に最も近い山岳公園

秩父多摩甲斐国立公園は、北奥仙丈岳(2,601m)を最高峰とし、金峰山、甲武信ヶ岳、雲取山など標高2,000m級の高峰が連なる奥秩父山塊と、その周辺の大菩薩嶺、両神山、御岳昇仙峡、奥多摩などを含む、山岳と渓流が特徴的な公園で、東西約70km、南北約40kmの広さを有しています。
奥秩父山塊は、千曲川(信濃川)、笛吹川(富士川)、多摩川、荒川など関東・本州中部の代表的な河川の源流と分水嶺にあたり、これら河川の浸食により、急峻なV字谷が発達するなど山岳や渓谷の景観は変化に富んでいます。
国立公園としては首都圏に最も近く、交通の便も良いため、公園には多くの利用者が訪れ、ハイキング、登山、キャンプ、釣り、沢登りなど、様々な楽しみ方で、自然に親しんでいます。

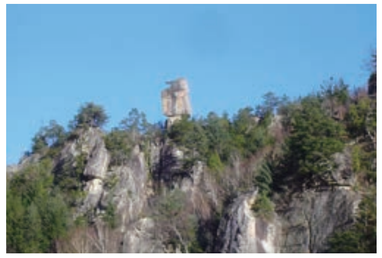
［指定年月日］昭和25年7月10日　［面積］126,259ha
［関係都道府県］埼玉、東京、山梨、長野

奥秩父主稜

地質　地形

本公園は、標高2,000m級の山々が並ぶ山岳地帯ですが、火山が1つも含まれていないという、火山国日本には珍しい特徴も持っています。また、千曲川、笛吹川、多摩川、荒川などの源流部であり、これらの河川によって浸食された山域には至るところに深く美しい渓谷が見られます。
この公園は地質的には、東西二つの地域に大別されます。東側の荒川・多摩川流域の大部分が堆積岩からなり、西側は金峰山を中心に花崗岩が広く分布しています。
堆積岩地帯には石灰岩層が含まれることから日原、養沢などの鍾乳洞が点在します。
花崗岩地帯では、河川によって浸食された西沢渓谷や御岳昇仙峡など、周囲を絶壁に囲まれ、滝・釜・淵の連続する変化に富んだ景観を呈しています。また、瑞牆山や金峰山、廻り目平などでは浸食・風化から残された花崗岩の岩塔がそびえたち、豪快な山岳景観を呈しています。

花崗岩の岩塔が林立する金峰山


廻り目平周辺の花崗岩岩峰

西沢渓谷(新緑に包まれた七ツ釜)

中津川

取り組み

── 登山道の維持管理 ──

本公園には多くの登山者が訪れますが、登山者がすれ違う際などに登山道が拡がってしまったり、複線化してしまったりすることがあり、周辺の植生などへの影響も懸念されています。
そこで、行政や地域関係者、登山者などが協力して、登山道の補修や通行箇所の明確化などを行い、植生の保護・回復や景観の保全に取り組んでいます。

── 清掃活動 ──

多くの方に利用されてきた登山道や山小屋の周辺において、過去に投棄された空き缶やビン、菓子袋などが確認される場所もあります。そこで、地域関係者や行政機関、ボランティアの方などにより、利用者が快適に過ごせるよう、協力して清掃作業を行っています。

登山道の補修の様子

清掃活動の様子

植生　動物

── 植生 ──

本公園は標高200mから2,600mの範囲にあり、標高によって様々な植生帯を含んでおり、以下のような植生の垂直分布を観察することができます。
山麓はブナ、カツラ、カエデ類などの広葉樹林が広がり、新緑や紅葉が美しい地域です。
標高1,500から2,000mあたりの主稜の山腹などでは、コメツガ、トウヒなどにカンバ類、カツラなどを加えた針広混交林の原生林が分布しています。
その上の奥秩父主稜線は山頂部付近まで、コメツガ、シラビソなどの亜高山性針葉樹林に被われています。山腹から山頂にかけての森林では、林床の倒木や岩塊にコケ類やシダ類が繁茂し、深山の情景を高めており、アルプス的な山岳とは趣の異なる景観を楽しむことが出来ます。
さらに、標高2,500mを越える主稜線にはわずかながら高山帯の植生が分布しています。金峰山山頂付近にはハイマツやキバナシャクナゲが群生しており、それまでの鬱蒼とした針葉樹林からは一転し開放感のある景色が広がります。

本公園では、山岳や高原に特有な様々な植物を見ることができます。石灰岩からなる山岳が多いため、石灰岩地特有の植物が存在するのも特徴で、絶滅が危惧されている貴重な植物もみられます。季節ごとに咲く花々を楽しみに訪れる人も多くいます。

── 動物 ──

本公園は、山麓部から山頂部付近まで鬱蒼とした森林に覆われ、様々な動物にとって格好の生息環境となっています。ツキノワグマ、ニホンジカ、ニホンカモシカなどの大型ほ乳類をはじめ、イノシシ、サル、イタチ、ムササビ、ウサギなどが生息しています。鳥類では、コマドリが全域にわたって生息しており、甲武信ヶ岳や金峰山などでは、ホシガラス、イワヒバリといった亜高山性の鳥類が確認されています。また、セミ類、トンボ類、チョウ類なども数多くみられます。
渓流にはイワナ、ヤマメに代表される魚類も多く、清流が多いことからサンショウウオも生息しており、6〜7月頃にはカジカガエルの美しい声が聞かれます。

金峰山山頂付近のハイマツ帯

一里観音の広葉樹林

キバナシャクナゲの群生(金峰山)

コケモモ(黒金山)

チョウセンナニワズ

レンゲショウマ(御岳山)

カタクリ(御前山)

カモシカ

ホシガラス

ハコネサンショウオ

アカタテハ

文化

本公園では、山深い渓谷の急斜面に集落が発達し、石段を施した段々畑などと相まって特徴的な集落景観がみられます。また、集落を結ぶ峠道が生活道として利用されてきました。秩父往還として古くから利用された雁坂峠、中里介山の小説のタイトルになった大菩薩峠などの歴史的な峠道が多くあります。これらは今もハイキングコースとして利用されており、山深い環境で暮らす人々の営みを知ることが出来ます。
御岳山や三峰山は、古くから山岳信仰の対象となっており、かつては修験の場として栄えていました。武蔵御嶽神社や三峯神社の周辺は、社殿や参道、神木、宿坊などが相まって山岳信仰の場として厳かな雰囲気を呈しています。

三峯神社

雁坂峠

連絡先一覧

環境省関東地方環境事務所
〒330-6018 埼玉県さいたま市中央区新都心11-2
明治安田生命さいたま新都心ビル18F
| TEL | 048-600-0516　| FAX | 048-600-0517
| URL | http://kanto.env.go.jp/

奥多摩自然保護官事務所
〒198-0212 東京都西多摩郡奥多摩町氷川171-1
| TEL | 0428-83-2157　| FAX | 0428-83-2162

秩父多摩甲斐国立公園サイト
http://www.env.go.jp/park/chichibu/

8月11日は国民の祝日「山の日」です。
国土の約7割を山がしめる日本。
8月11日の「山の日」に、改めて山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝しましょう。

環境省
発行者：環境省
発行年：2019年

※ 見どころ案内マップは、指定区域の概要を示すために作成したものであり、誤差があることを考慮した上でご利用ください。

国立公園の利用上のマナー

多くの方に楽しく利用していただくために、
国立公園内では自然を大切にすることを心がけ、
次のことを守ってください。

- ゴミを捨てないでください
- 花や植物を採らないでください
- 野生動物に餌を与えないでください
- 動物を獲らないでください
- 歩行中禁煙
- たき火は指定の場所で行いましょう
- 山火事をおこさないよう気を付けましょう
- 駐車場でのアイドリングをしないでください
- 登山道や遊歩道からはずれて歩かないでください
- トイレなどの公共施設をきれいに使いましょう。

本公園の自然をゆっくりと安全に楽しむため、
事前の準備をしっかりとして、余裕のある行程で
行動しましょう。

奥秩父主稜線の山々

瑞牆山、金峰山、甲武信ヶ岳を経て雲取山に至る奥秩父主稜の山々は、本公園の核にあたり、変化に富んだ姿を見せます。1座登ったり縦走したりと、体力や技術にあわせて様々な楽しみ方ができます。瑞牆山麓の増富温泉郷や雲取山麓では登山の疲れを癒すこともできます。

01 | 金峰山 B3

山梨と長野との県境に位置する金峰山は、奥秩父山塊の盟主です。頂上付近にハイマツの群落が広がる姿は、針葉樹林に覆われることの多い奥秩父のなかでは特徴的な雰囲気を醸し出しています。

02 | 03 | 北奥千丈岳、夢の庭園 C3

北奥仙丈岳は奥秩父山塊最高峰であり、頂上からの眺望にも優れます。また、大弛峠の近くの「夢の庭園」では、巨石、灌木、高山植物があたかも庭園のような景色を織りなしています。

04 | 御岳昇仙峡 B5

御岳昇仙峡は、日本を代表する美しい渓谷として広く知られています。夏には松の青が、秋には紅葉の赤や黄色が岩肌の白を鮮やかに引き立たせ、多くの人を魅了します。

05 | 甲武信ヶ岳 C3

千曲川、笛吹川、荒川の源流域であり、甲斐、武蔵、信濃にまたがることが名前の由来と言われています。深い原生林に包まれた山で、6月にはシャクナゲが咲き乱れます。

06 | 西沢渓谷 C3

西沢渓谷は、原生林を流れる清流によってつくりあげられた、迫力のある渓谷です。周辺の景色を映しこんだ水面は四季折々の異なった表情を見せます。

07 | 08 | 笠取山・水干 D3 | D4

多摩川の源流であり、山頂付近の「水干」では多摩川の最初の1滴にふれることができます。比較的短時間で登山ができ、展望も優れていることから、多くの登山者が訪れます。

09 | 両神山 D2

本公園の北端にあり、日本百名山にもなっています。古くからの信仰の山であり、登山道沿いには数多くの石仏などが残されています。山頂には約50mにも及ぶ断崖が発達しています。

10 | 栃本関所跡 D2

栃本は、雁坂峠を越える秩父往還と、十文字峠を越える信州往還との分岐にあたる集落です。栃本関所跡は、往来が多かった時代の姿を偲ばせます。

11 | 大菩薩峠 D5

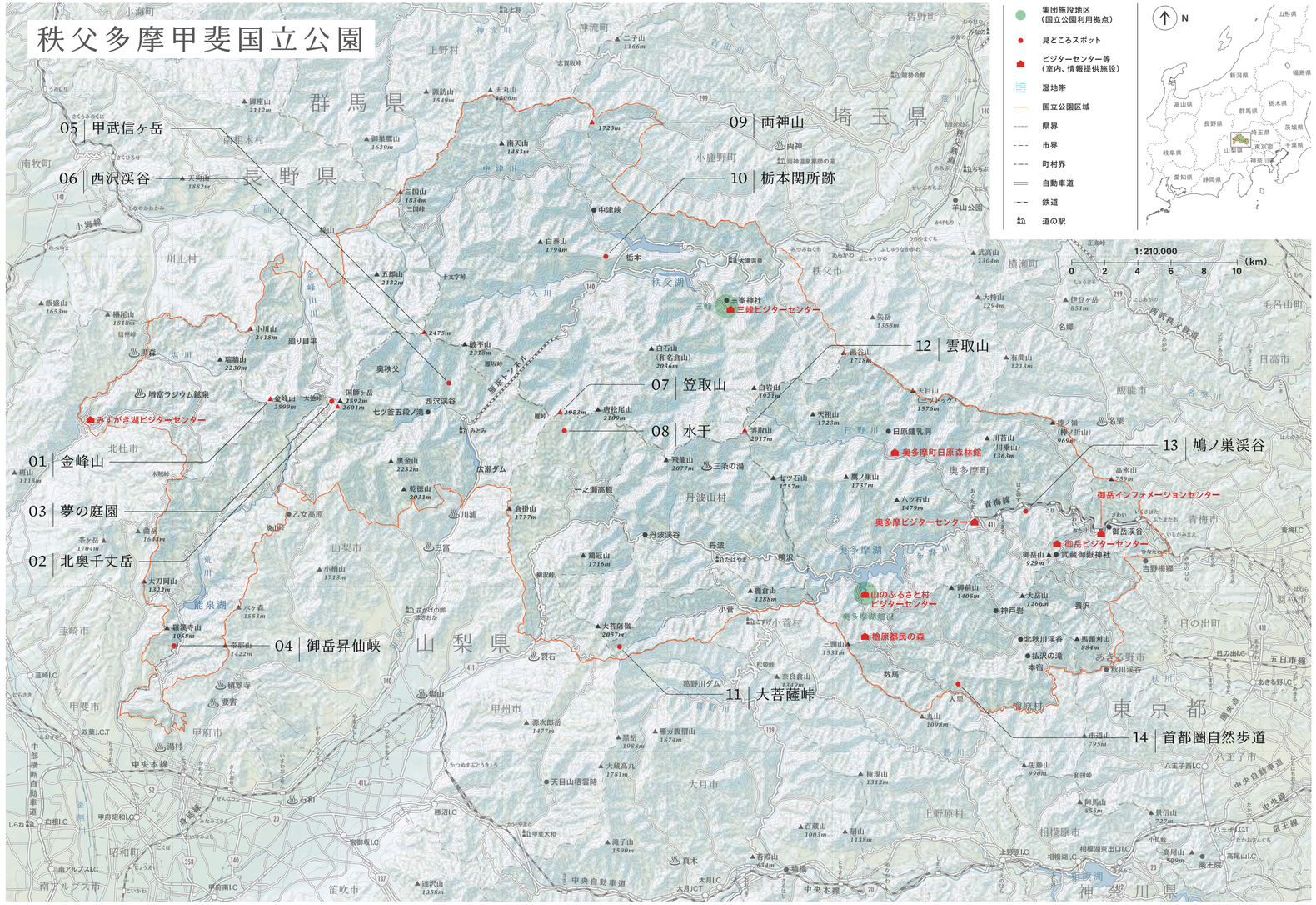
中里介山の未完の小説「大菩薩峠」で有名な峠です。稜線は草原と素晴らしい展望が広がります。車でのアクセスが良く、多くのハイカーが訪れます。

12 | 雲取山 E4

東京都の最高峰で、開けたササ原と原生林の全く違った表情を楽しめます。

13 | 鳩ノ巣渓谷 G4

多摩川上流の渓谷であり、水流による浸食で巨岩や奇岩が連なっています。紅葉の名所でもあり、秋には多くの観光客が訪れます。



※詳細な区域確認等に当たっては、担当の環境省自然保護官事務所等に問い合わせてください。

14 | 首都圏自然歩道 F5

武蔵御嶽神社

払沢の滝

関東ふれあいの道(首都圏自然歩道)は、関東地方、一都六県（東京・埼玉・群馬・栃木・茨城・千葉・神奈川)をぐるりと一周する長距離自然歩道です。本公園内には約41.6km、4コースが整備されています。美しい自然だけでなく、地域の歴史や文化にふれあうことのできる魅力的な道です。

Information | 施設案内

御岳ビジターセンター G4
〒198-0175
東京都青梅市御岳山38-5
[TEL] 0428-78-9363

奥多摩ビジターセンター F4
〒198-0212
東京都西多摩郡奥多摩町氷川171-1
[TEL] 0428-83-2037

山のふるさと村ビジターセンター F5
〒198-0225
東京都西多摩郡奥多摩町川野1740
[TEL] 0428-86-2551

三峰ビジターセンター E3
〒369-1902
埼玉県秩父市三峰8-1
[TEL] 0494-23-1511

檜原都民の森 F5
〒190-0221
東京都西多摩郡檜原村7146
[TEL] 042-598-6006

※開館時間などについて詳しくは各施設にお問い合わせください。

Access | 交通アクセス

新宿駅
↓ JR中央本線特急 約100分
甲府駅
↓ バス等
御岳昇仙峡

東京駅
↓ JR中央線快速 約50分
立川駅
↓ JR青梅線 約35分
青梅駅
↓ JR青梅線 約20分
御嶽駅
↓ JR青梅線 約20分
奥多摩駅

※アクセスルートは一例です。各区間の所要時間は目安です。
詳しくは各交通機関の窓口・ホームページなどでご確認ください。